

# 浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第4回運営委員会

令和3年12月23日



## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 取組状況、各種動向

- (1) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ
- (2) PF会員向けソリューションピッチ
- (3) Hamamatsu ORI-Project
- (4) マイナンバーカードの動向

## 4 その他

## 5 意見交換

- (1) 農業分野
- (2) 産業分野（スタートアップ）

## 6 閉会

## 2 あいさつ

---



委員長（浜松市副市長） 山名 裕

## 1. 会議参加時

---

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

## 2. ご発言時

---

- オンラインでの参加者  
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者  
テーブルのハンドマイクにてご発言ください。

## 白坂 成功（しらさか せいこう）氏

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

### 【委嘱のねらい】

### アーキテクチャの観点から見た デジタル・スマートシティの推進

社会システムのデザインやまちづくりの方法論の観点から助言いただき、本市のデジタル・スマートシティの取組を体系化する。

※アーキテクチャ：設計図、目的を実現するための仕組み



### ◆ フェロー委嘱式（2021.11.26）



#### 【白坂氏コメント要旨】

この度は、フェローを委嘱いただきありがとうございます。  
浜松市や地元企業の皆様と関わる中で、浜松市が多岐に渡る取組をしていると感じています。  
また、全国各地の取組を見る中で、浜松市の取組が参考になる地域が多くあり、浜松市が「リファレンスシティ」として全国の取組のベースとなるのではないかと考えています。  
今後、アーキテクチャの観点から浜松市の活動をよりよくしていくだけでなく、日本さらには世界に展開していけたらと思っております。

来年2月に就任を記念したセミナーを開催予定

### 3 取組状況、各種動向

---

# (1) “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ

分野間連携を促進するため、各分野の取組を紹介する「ウェビナー」を、月に1回程度開催。

## <スケジュールと紹介分野>





## 第6回 ～観光・商業分野の取組と今後の展望～

令和3年12月14日(火) 13:30-15:00  
参加申込者：37名

### 開会 概要説明

浜松市デジタル・スマートシティ  
推進事業本部

### インプット①

浜松・浜名湖ツーリズムビューロー  
前田 忍 氏

### インプット②

浜松市産業部  
北嶋 秀明

### インプット③

浜松まちなかにぎわい協議会  
齋藤 恵一 氏

### 座談会／ 質疑応答

- ▼登壇者  
前田 忍 氏  
齋藤 恵一 氏  
北嶋 秀明
- ▼ファシリテーター  
(株) HEART CATCH  
西村真里子氏



The screenshot shows the HDSC MONTH website. The main navigation menu includes: ホーム, “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ, 第1回～スマート林業の取組と課題～, 第2回～スマート農業の取組と課題～, 第3回～モビリティ分野の取組と課題～, 第4回～ウェルネス分野の取組と課題～, 第5回～エネルギー分野の取組と今後の展望, 第6回～観光・商業分野の取組と今後の展望, 令和3年度冠事業一覧, “デジタル・スマートシティ浜松”オンラインセミナー, 令和3年度官民PR会員ソリューションピッチ, “浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム”オンラインセミナー, 令和3年度デジタル・スマートシティ浜松 オンラインフォーラム, 公式ロゴマークについて.

There are three video thumbnails displayed:

- Top right: “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ 第6回 ～観光・商業分野の取組と今後の展望～. 2021/12/14(火) 13:30-15:00 @Zoomウェビナー開催. フォーラム. 公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事 事業部長 前田 忍氏. 浜松市産業部 部長 北嶋 秀明. 浜松まちなかにぎわい協議会 理事 齋藤 恵一氏. 開催場所: 浜松市.
- Middle right: ウェビナー資料. “デジタル・スマートシティ浜松”ウェビナーシリーズ 第6回 ～観光・商業分野～. 令和3年12月14日. 浜松市.
- Bottom right: 観光地域づくりにおけるデジタル戦略. 観光地域づくりにおけるデジタル戦略. 公益財団法人 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 理事・事業部長 前田 忍氏. 浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム 運営委員 前田 忍氏.

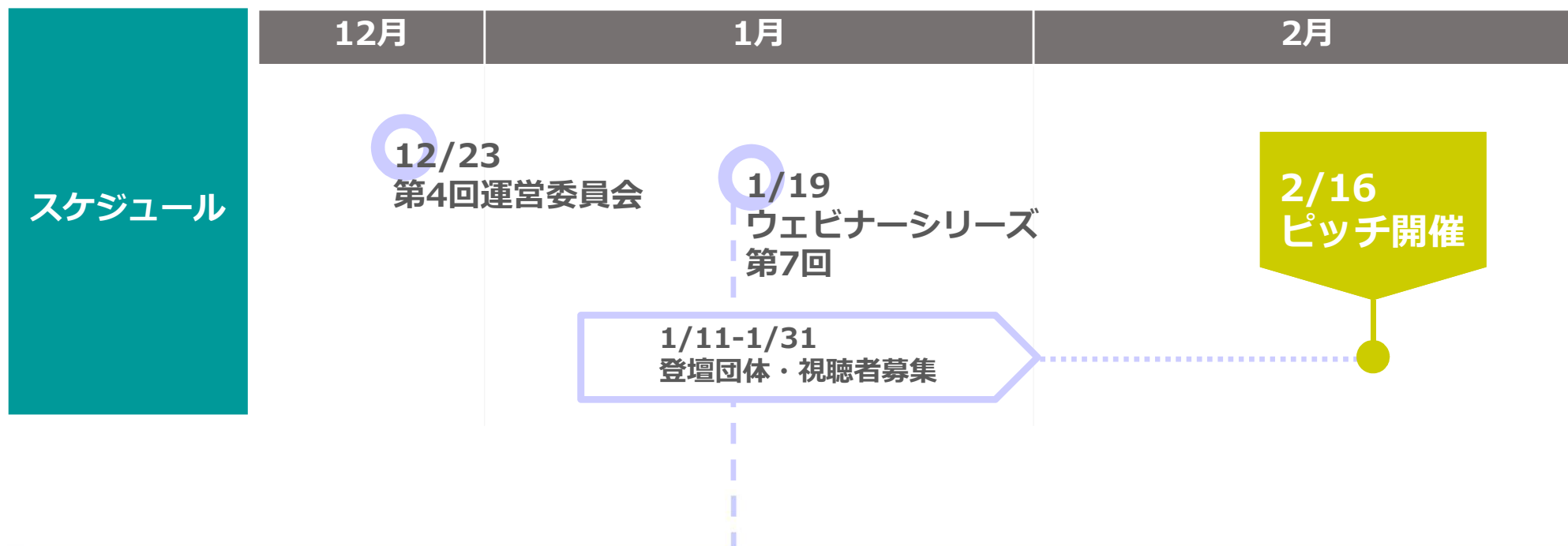
浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、  
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2021-6>

## (2) PF会員によるソリューションピッチ

---





## ウェビナーシリーズ第7回 ～教育・子育て分野の取組と今後の展望～

令和4年1月19日（水） 16:00-17:30

- インプット①** 「(仮)教育分野の現状とデジタル活用への期待」 浜松市学校教育部
- インプット②** 「(仮)子育て分野の現状とデジタル活用への期待」 浜松市子ども家庭部
- インプット③** 「(仮)子育て支援とデジタル活用」 認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ
- 座談会／質疑応答** テーマ「教育・子育て分野の取組と今後の展望」

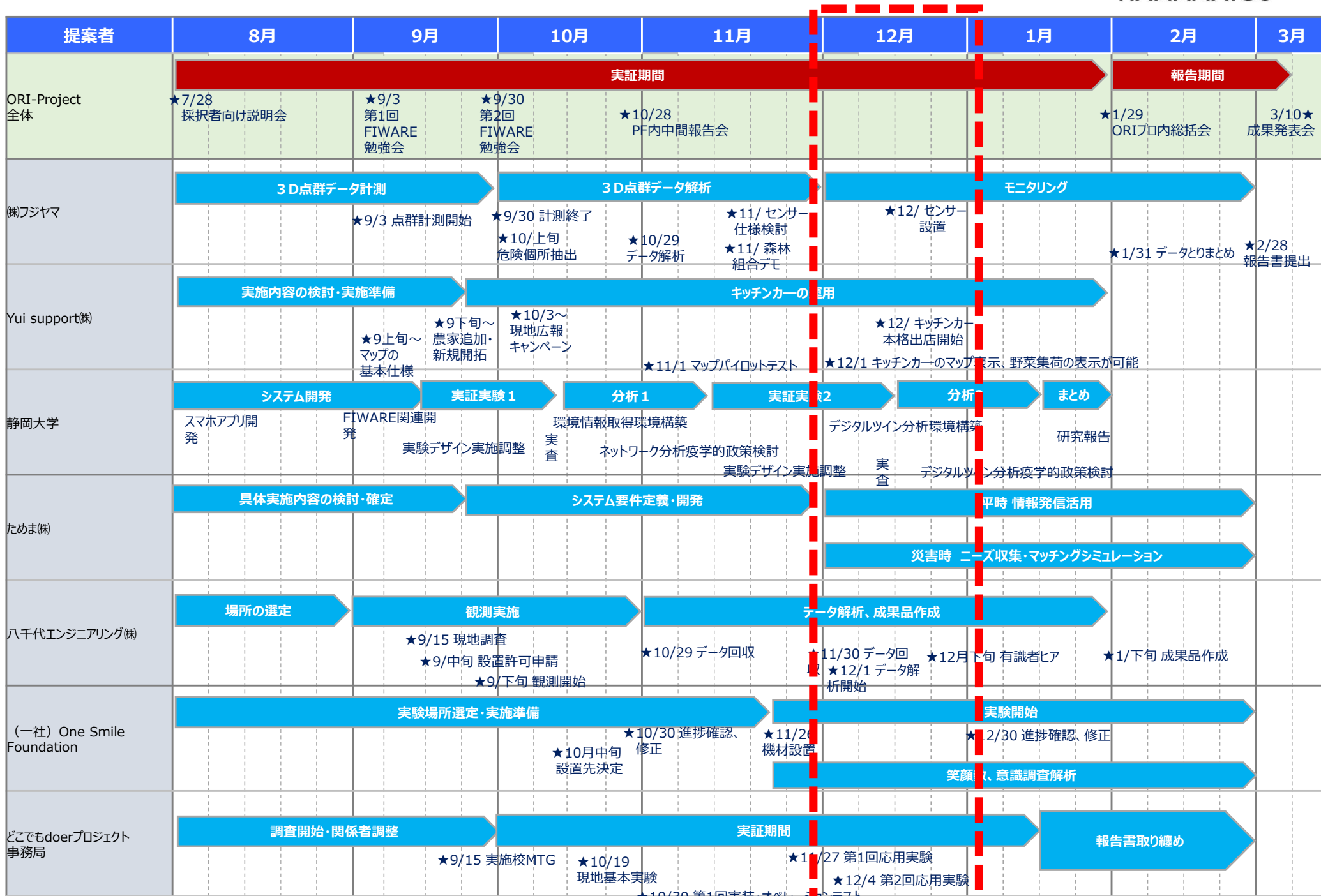
# (3) Hamamatsu ORI-Project

- 今年度は13件の提案プロジェクトのうち、次の7件を採択し、支援に取り組んでいます。

## 応募プロジェクト一覧（※テーマ別50音順）

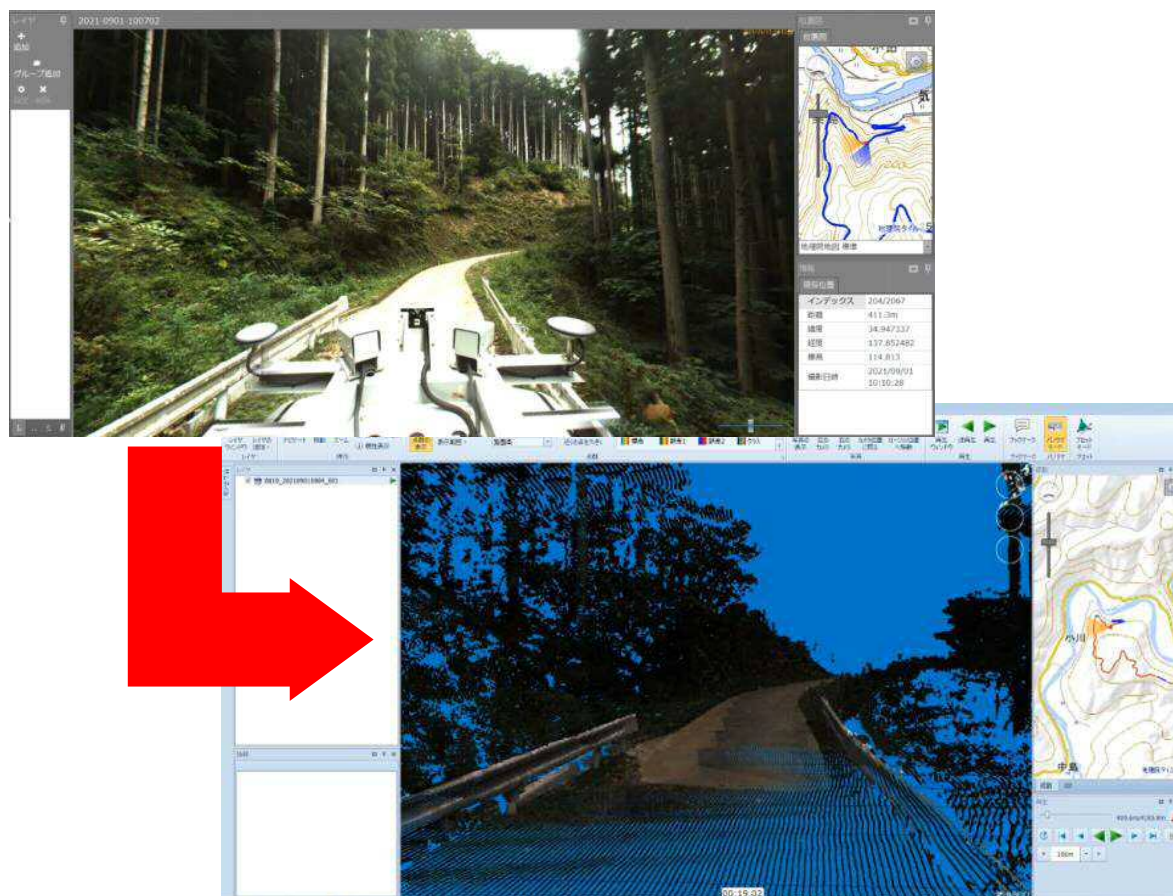
テーマ	法人名・団体名	代表者氏名	所在地 (都道府県)	所在地	実証実験プロジェクト名称
スマート 農林業	株式会社フジヤマ	藤山 義修	静岡県	浜松市	3D点群データを利用した林道の利活用・維持管理・防災点検運用支援
スマート 農林業	Yui support株式会社	玉置 麻菜美	静岡県	浜松市	キッチンカーを活用した市民参加型6次化実証プロジェクト
市民目線の 暮らしやすさ	国立大学法人静岡大学	日詰 一幸	静岡県	静岡市	新型コロナウイルス感染シミュレーションに向けたD2D社会実験
市民目線の 暮らしやすさ	ためま株式会社	清水 義弘	広島県	広島市	まちの情報シェアアプリの災害時ボランティアニーズ収集活用
市民目線の 暮らしやすさ	八千代エンジニアリング株式会社	出水 重光	東京都	台東区	海域（浜名湖含む）へ排出されるプラスチック等の人工系ごみ輸送量の実態把握
市民目線の 暮らしやすさ	(一社) One Smile Foundation	辻 早紀	神奈川県	横浜市	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト
その他	どこでもdoerプロジェクト事務局(個人)	岩井 隆浩	神奈川県	藤沢市	どこでもdoerプロジェクト

# 各プロジェクトのスケジュール

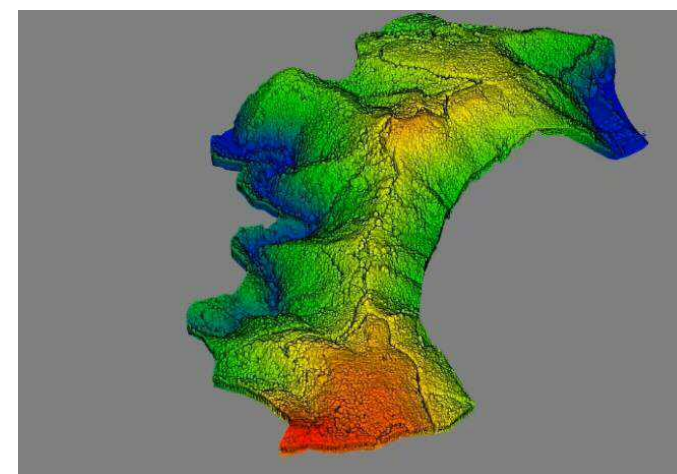




- 林道笹合線の3D点群データの取得と危険個所の抽出が完了し、危険箇所に設置するモニタリング用の振動センサーの仕様について検討を進めています。
- 11月中旬から、天竜森林組合に笹合線の3D点群データを閲覧できるようにセッティングしたタブレットを貸し出して活用してもらっており、今後、使用感等をヒアリングする予定です。



3D点群データの計測



3D点群データを用いた分析

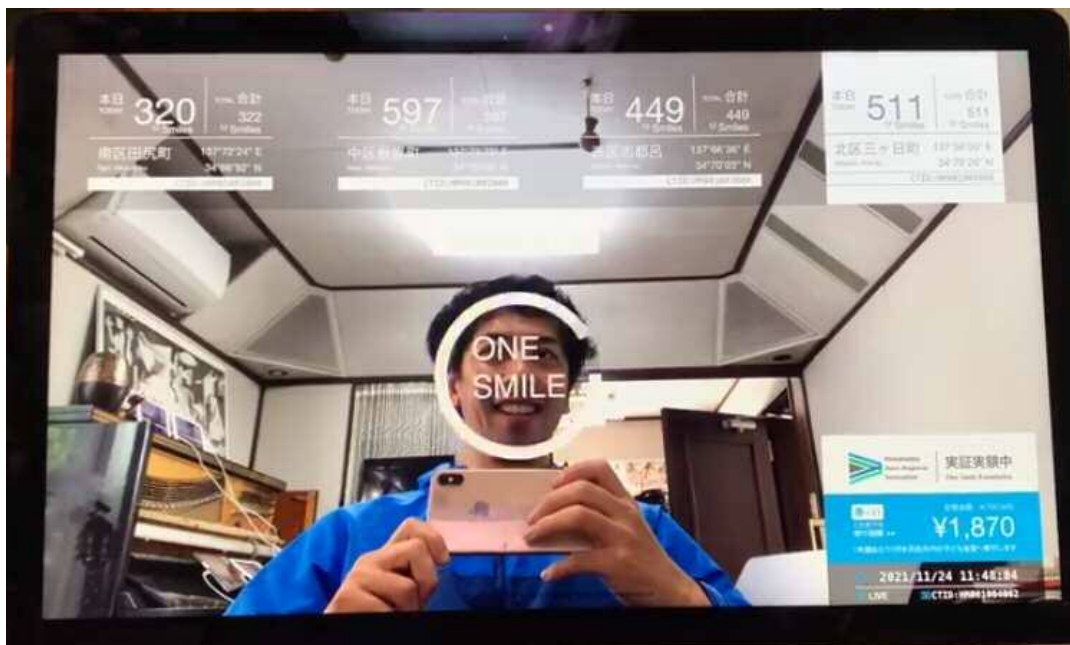


- 健康経営やウェルネス分野に積極的に取り組む市内企業4社に専用アプリをインストールした端末を設置し、11月26日（金）から笑顔の検知とカウントを開始しました。（2月下旬まで）
- 設置先企業の社員に対し、幸福度に関するアンケート調査をあわせて行いました。
- カウントした笑顔の回数×1円が市内の子ども食堂に寄付されます。（12/16時点で、約9万円分）

## 協力先の市内企業



ウェルネス浜名湖



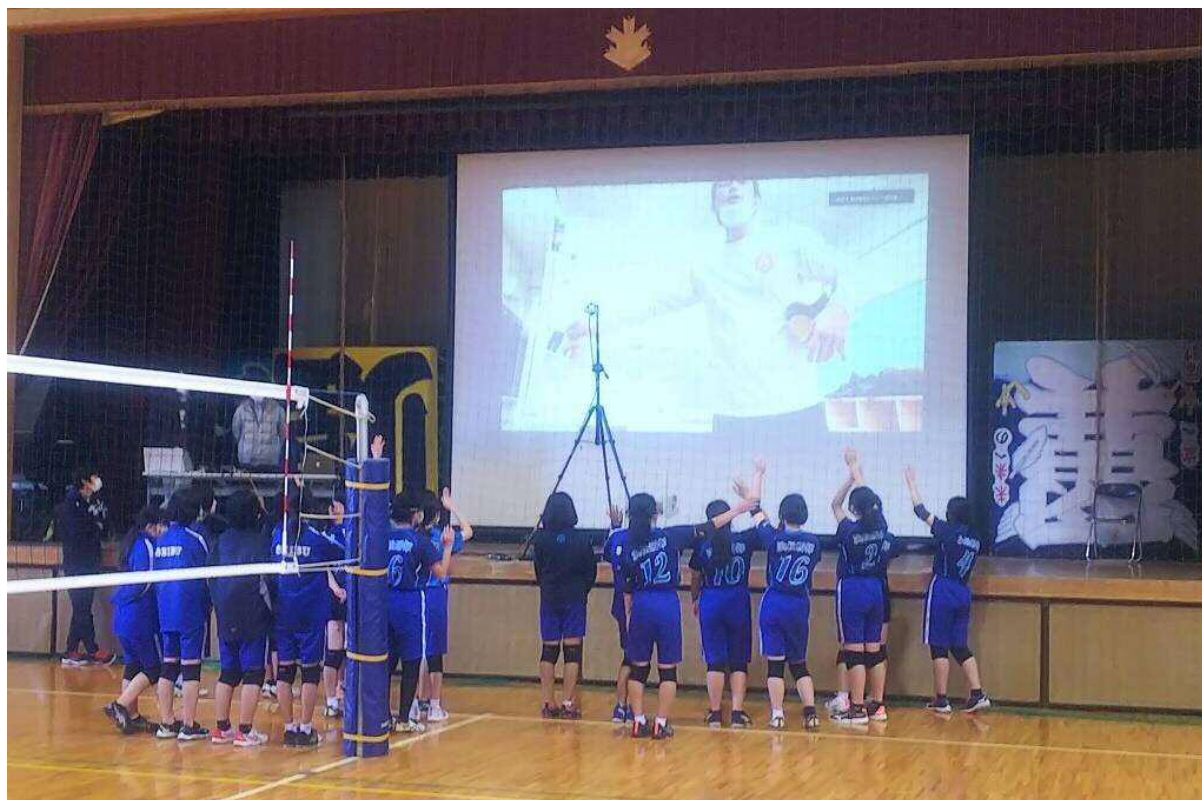
笑顔検知の様子



12月15日 SBSの情報番組『ORANGE』で放映



- 市立西部中学校の女子バレーボール部に協力いただき、オンラインによる部活動指導の実証実験を11月27日（土）、12月4日（土）の2回にわたって実施しました。
- 遠隔操作可能なオンラインカメラで部員の動きを確認するのに加え、バレーボールの熟達度が異なる部員5人の腕に複合センサーを入れたサポーターを装着してもらい、加速度の変化等の情報をリアルタイムで取得しました。現在、取得したデータの詳細な分析を行っています。



オンラインで指導を受ける西部中学校の生徒たち



12月8日付け静岡新聞朝刊に記事掲載

- 11月15日（月）、Hamamatsu ORI-Projectの中間報告会をオンラインで開催しました。
- 各プロジェクトがどのようなやり方で、どのようなデータを収集するのかという点について互いに共有することで、データ連携基盤のユースケースのヒントをつかんでもらうことを目的としています。

## Hamamatsu ORI-Project中間報告会（オンライン開催）の様子

### 1. 実証試験の概要

**最終目標**

散乱ごみや不法投棄が  
無い地域の創出

環境面や衛生面に  
懸念がない地域

市民目線での  
暮らしやすさ

※本プロジェクトのテーマ種別

**現状の課題**

- ✓浜名湖や後期湖のごみはどこから来ているか
- ✓中田島砂丘がアカウミガメの産卵地の環境保全
- ✓人口減少に伴う地域消滅の活動量減少
- ... etc.

**実証試験の内容**

海域（浜名湖含む）へ排出されるプラごみ等の人工系ごみの実態把握

動画を撮影し、川から流出する自然・人工系ごみの輸送量を把握する技術  
(RIAD: River Image Analysis for Debris transport)

①河川水表面の動画撮影

②動画解析結果

動画撮影には  
■ 昨年度ORI-Projectで実施した「デジタルカメラ」を使用

### 災害時機能イメージ

※今回掲載する情報は災害時を想定したダミー情報です

1 イベントに被災情報を掲載

2 カスタムマップ機能（災害対応情報・被災情報）

運営者が選別し  
マップ上に  
公開情報として残す

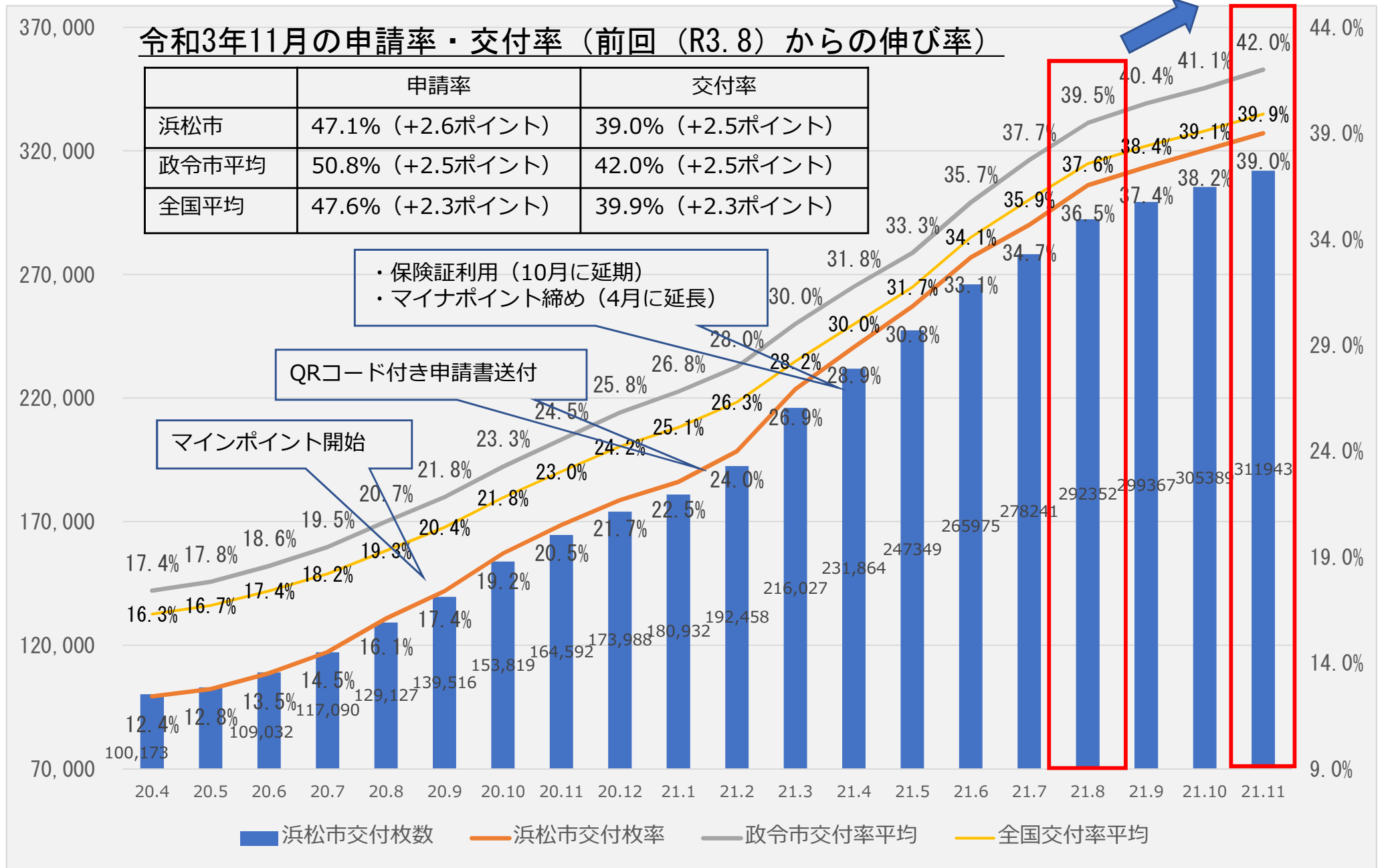
- ・投稿者には事前に投稿権限を付与（投稿時の承認はなし）
- ・被災情報を写真と位置情報、簡単なコメント、「被災情報」カテゴリをつけて投稿
- ・投稿の日は当日の日程＋時間帯を選択
- ・投稿日中は表示され、誰でも見られる

ボランティアニーズは被災地域のボランティアセンターに共有し  
応急復旧時～生活支援期の支援に活用

## (4) マイナンバーカードの動向



# (1) マイナンバーカード交付状況



## (2) マイナンバーカード取得及び活用の促進

### ① 9月以降の国の動向と本市の取り組み

	国	浜松市																		
9～12月	<p>【10月】 健康保険証利用の本格開始（10/20） （12/5時点の運用状況（全国））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病院</th> <th>診療所</th> <th>歯科</th> <th>薬局</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カードリーダー申込率</td> <td>78%</td> <td>44%</td> <td>49%</td> <td>81%</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>運用率</td> <td>19%</td> <td>6%</td> <td>7%</td> <td>13%</td> <td>8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【11月】 マイナポータルにて医療費通知情報が閲覧可能となる。（11/19）</p> <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>署名用パスワードの初期化・再設定が一部のコンビニで可能となる。（12/1）</li> <li>デジタル版ワクチン接種証明書が開始</li> </ul>		病院	診療所	歯科	薬局	合計	カードリーダー申込率	78%	44%	49%	81%	56%	運用率	19%	6%	7%	13%	8%	<p>【9～11月】 各所申請サポート（9/18～11/26）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 申請者：1,366人</li> <li>➤ 申請場所：イオン、TOBIO、浜松アリーナ等（計：14箇所）</li> </ul> <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン（市野、志都呂）での申請サポート常設（12/1～3/31）</li> <li>・証明書交付手数料の減額（▲200円） （R3.12.1～R5.3.31）</li> </ul>
	病院	診療所	歯科	薬局	合計															
カードリーダー申込率	78%	44%	49%	81%	56%															
運用率	19%	6%	7%	13%	8%															
1～3月	<p>【1月以降】マイナポイント第2弾</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ マイナポイント（マイナポイント第1弾を申し込んでいない方）（5,000円、R4.1.1～）</li> <li>➤ 健康保険証利用登録者（7,500円、時期未定）</li> <li>➤ 公金受取口座登録者（7,500円、時期未定）</li> </ul>	<p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードと連携したポイントバックキャンペーン</li> <li>・ワクチンパスポート運用開始に合わせた消費拡大キャンペーン</li> <li>・県立高校への申請サポート予定</li> </ul> <p>【2月】 確定申告会場（アクト）での申請サポート</p>																		

## (2) マイナンバーカード取得及び活用の促進

### ② 民間事業者の取組

#### 1 不動産売買契約での活用

日本初！GMOグローバルサイン・HDと東急リバブルが不動産売買契約でマイナンバーカード認証による電子署名実用化に着手（令和3年12月）

＜マイナンバーカード認証による不動産売買契約実用化のメリット＞

- スマホとマイナンバーカードだけで、信頼性が高い本人確認を実現
- 実印相当の効力をもつ電子契約により本人確認書類が不要
- 手書き署名が無くなることで、お客さまの契約手続きの手間を削減
- 関係書類をクラウド上で閲覧可能となり、紙の書類の持ち運びが不要
- 契約当事者が遠隔地にいながら、不動産売買契約手続きが可能
- 不動産売買契約書に貼付する印紙代が不要

#### 2 銀行口座開設での活用

マイナンバーカードでPayPay銀行口座開設（令和3年10月）

- スマートフォンとマイナンバーカードのみで、新規口座を開設可能
- 公的個人認証サービス（JPKI）を使った、確認確実な本人確認
- 入力ミスを防ぎ、事務負担軽減

#### 3 会社設立での活用

freee会社設立、マイナポータルと連携開始。法務局提出書類を電子送信（令和3年10月）

- マイナポータル連携機能で、提出書類の電子送信
- 合同会社の設立時に必要な「合同会社設立登記申請書」「定款」の送信が可能。電子送信する書類は印刷や提出先の法務局に出向く必要がなくなる。
- 今後は株式会社設立時のマイナポータル連携を予定。オンラインで会社設立が完結することを目指す。

# 4 その他



# (1) スーパーシティ構想への再提案について

---



# 浜松市のスーパーシティ構想について (再提案・概要)

令和3年10月15日



## 背景

2

### スーパーシティを目指す理由

#### 全国共通の課題

#### 社会の激変

- ・人口減少
- ・急激な高齢化



地域コミュニティが

**崩壊**

サステナブルな地域社会の構築が必要

「先端技術 × 規制緩和」で

**共助型社会**を実現

# デジタル・スマートシティ浜松の推進

3

## 浜松市デジタル・スマートシティ構想（令和3年3月策定）

人口減少・少子高齢化やインフラ老朽化、コロナ禍の状況においてデジタルの力を最大限に活用し、「市民QoL（生活の質）の向上」と「都市の最適化」を目指し、デジタルで“繋がる未来”を官民で共創します。

### 将来像

### ～デジタルで“繋がる未来”を共創～

#### 目指す方向性（基本理念）

キュー・オー・エル

#### 「市民QoL（生活の質）※の向上」と「都市の最適化※」

※QoL：  
「Quality of Life」の略。人々の幸福感など、  
社会のゆたかさや生活の質のこと。

※都市の最適化：  
都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、効果的・  
効率的な都市計画、都市整備、都市管理・運営を実現すること。

#### 必要な視点1

#### オープンイノベーション

イノベーションの創出に向け、  
組織や分野等を超えた共創のまちづくりを  
推進します。



#### 必要な視点2

#### 市民起点/サービスデザイン思考

デジタルは、「市民QoLの向上」「都市の最適  
化」のための手段と捉え、“市民起点”の  
まちづくりを推進します。



#### 必要な視点3

#### アジャイル型まちづくり

スモールスタートでまずチャレンジし、  
トライ&エラーを繰り返し、  
変化に強いまちづくりを推進します。



#### 基本原則1

オープン/相互運用性

#### 基本原則2

多様性/包摂性

#### 基本原則3

透明性/プライバシー

#### 基本原則4

持続可能性

#### 基本原則5

安全・安心/強靱性



## 目指すスーパーシティ

4

## 浜松市の特徴を活かしたスーパーシティ

浜松市の特徴・強みを活かして、スーパーシティを目指します。



## 【浜松市の特徴】

## ①国土縮図型政令指定都市

- ・ 広大な市域で約7割が森林
- ・ 沿岸部や都市部、中山間地域などの多様な自然社会環境
- ・ 過疎地域※が市域面積の約5割

## ②健康寿命日本一

- ・ 政令指定都市・特別区のなかで、男女共に3期連続日本一

## ③ものづくり力

- ・ グローバル企業、多くの製造業の事業所が立地（4,000社以上）
- ・ 優れた人材を輩出する大学や企業
- ・ スタートアップ・エコシステム・グローバル拠点都市

※本市は「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」における卒業団体

## 目指すスーパーシティ

5

### 浜松市「Well-beingスーパーシティ」の概要

多様な実証実験フィールドである「国土縮図型政令指定都市」のもと、「健康寿命日本一」と「ものづくり力」という強みを活かし、共助型社会を通じ、市民の生活の質の向上を実現し、「健幸に暮らせる街に」します。





## 目指すスーパーシティ

6

### 浜松市「Well-beingスーパーシティ」の概要

様々な分野の先端的サービスを実現し、「**身体**の健康」と「**経済**の健康」により、幸せを感じられる浜松市『**Well-beingスーパーシティ**』を実現します。



### 規制改革の考え方

共助型社会実現のため、個々の規制改革をパッケージ化することで、**大胆に規制改革**を進める

## 先端的サービスの例

7

### 持続可能な医療提供体制

中山間地域における高齢者の通院や医師不足等の課題解決のため、モビリティと医療分野の連携により、持続可能な地域医療サービスの環境整備を実現します。

自宅まで移動診療車が訪問



遠隔服薬指導の制限に関する規制緩和



遠隔服薬指導



移動診療車の車内で遠隔診療



オンライン診療の診療科目等の規制緩和



病院にいる医師  
(インターネット)

- ・生活習慣情報（歩数データ、食事内容写真データ、睡眠時間データ、血圧データ）
- ・投薬情報データ等のビッグデータ活用し、診察を実施

### 最先端物流システム

浜松市独自のケータリングサービスである『Foodelix』（フーデリックス）等を活用する店舗や市民の皆様の利便性を高めるため、多様な配送を実現するとともに遊休車両の活用につなげます。

自宅で食事や薬をキャッシュレスで注文



配達地域や場所により、最適な方法を選択

ドローンで配送



ドローンの飛行許可の簡素化（規制緩和）

自家用車で配送

自家用有償運送の規制緩和



タクシーで配送

タクシーでの荷物の運搬制限規制緩和



## 先端的サービスの例

8

### 次世代交通システム

公共交通の維持が困難な地域を中心に、地域住民による有償運送や、昼間の遊休車両等を活用した共助型のサービスを実現する。また、運行データ等を活用し、異なる交通手段の連携やデマンド型運行等により移動の効率化を目指す。



### スマート農業

高齢化や離職等による担い手不足等の課題解決のため、官民が連携し、「ものづくり産業」と「農業」を有機的に結び付け、もうかる農業を創出する。

データを活用した生育管理



生育データを活用し、最適な水の量を判断。栽培データから収穫量の時期や量を予測。



草刈り機・トラクターの自動運転



自動運転車両の公道走行の規制緩和

自動運転トラクターや、自動運転草刈機の活用。地図データやGPSデータと連携し、安全な自動運行を実現。



## (2) (仮) 浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例

---

## 浜松市

### デジタルファースト宣言（令和元年10月）

- ①「都市づくり」のデジタルファースト
- ②「市民サービス」のデジタルファースト
- ③「自治体運営」のデジタルファースト

### 体制整備（令和2年4月）

庁外：官民連携プラットフォーム  
庁内：デジタルスマートシティ推進本部

### デジタル・スマートシティ構想 （令和3年3月策定）

将来像：～デジタルで“繋がる未来”を共創～

基本理念：「市民QoL向上」「都市の最適化」

基本原則：①オープン／相互運用性 ②多様性／包摂性  
③透明性／プライバシー ④持続可能性  
⑤安全・安心／強靱性

ロードマップ：第一期重点分野と取組の設定

## 国

IT基本法（平成13年1月施行）

官民データ活用推進基本法  
（平成28年12月施行）

デジタル手続法（令和元年12月施行）

デジタル社会形成基本法  
（令和3年9月1日施行）

- 地方公共団体の責務（第十四条）  
…区域の特性を生かした自主的な施策を策定し、及び実施する責務を有する
- デジタル庁の設置（第三十六条）



## 制定 の 目的

- ① デジタル社会形成基本法の趣旨に基づき、デジタルを活用したまちづくりに関する本市施策の策定、実施について規定する。
- ② デジタルファースト宣言以降の本市取組の経緯を踏まえ、デジタルを活用したまちづくりに関する基本原則を改めて規定する。
- ③ 2020年12月総務省が策定した「自治体DX推進計画」を踏まえ、行政手続きのオンライン化、キャッシュレス決済等デジタル・ガバメントの推進計画の策定根拠を規定する。

## 主な 規定項目

- 目的
- 基本原則
  - 構想 5つの基本原則を規定  
(①オープン／相互運用性、②多様性／包摂性、  
③透明性／プライバシー、④持続可能性、⑤安全・安心／強靱性)
- 市の責務
  - 市の責務：基本原則にのっとり施策を総合的に策定及び実施する
- 基本指針等の策定等
  - デジタル・ガバメント分野の推進計画の策定
- 推進体制
  - 官民連携プラットフォーム 及び デジタル・スマートシティ推進本部

# 5 意見交換

# (1) 農業分野



AI・IoTを活用した高効率で高収益なスマート農業を普及させ、「もうかる農業」を実現させることにより、  
農業者の所得向上及び農業算出額の向上、農業による新しい地域産業の創出を達成する





No.	対象作目	導入機材	経営改善効果等
1	セルリー メロン	アシストスーツ 果実非破壊測定器	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ セルリー栽培の作業負荷軽減、労務環境改善</li> <li>➤ メロンの適期収穫と顧客に対する品質保証の実現</li> </ul>
2	水稲	ドローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 防除・除草作業の省力化</li> </ul>
3	セルリー ほうれん草 水稲	自動操舵トラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 直進アシスト機能付トラクターの導入による耕運作業の精度向上と省力化</li> </ul>
4	じゃがいも 玉ねぎ キャベツ 水稲	ドローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 農薬散布・施肥作業の省力化と技能習熟に要する期間の短縮</li> </ul>

No.	対象作目	導入機材	経営改善効果等
5	水稲	IoT機能付トラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 作業記録・圃場管理の効率化</li> <li>➤ IoT機能による異常検知・盗難予防</li> <li>➤ 作業記録を活用した営農アドバイザーとの情報共有強化</li> </ul>
6	水稲	自動操舵トラクター	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 直進アシスト機能付きトラクターの導入による耕うん作業の効率化と労務環境の改善</li> <li>➤ トラクターのIoT機能による作業記録及び作業計画の精緻化・効率化</li> </ul>
7	茶	自動操舵機能付摘採機	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 摘採作業の効率化、非熟練者の戦力化、労働安全衛生の改善</li> </ul>
8	畜産（牛）	牛舎監視システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 事故防止、見回り負担の軽減、他作業と見回り作業の両立による生産性向上</li> </ul>
9	茶	IoT機能付摘採機	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 作業記録の遺漏防止、作業記録と茶園管理の省力化</li> </ul>

## スマート農業を見学 浜松・天竜高春野校舎 1、2年生が現状理解

2021.10.6

浜松市天竜区の天竜高春野校舎はこのほど、農業の魅力や農作業の省力化への理解を深める校外学習を同区春野町で行った。1、2年生計28人が参加した。



農地で使用するドローンの実演＝浜松市天竜区春野町

市などと連携し、先進的な機械を活用して農作業の省力化を追求する「スマート農業」の実証実験に取り組む「笑顔畑の山ちゃんファーム」（同町）の山下光之代表（45）が講師を務め、切り干し用の大根を栽培する町内の農地で実際に使用している農機を紹介した。

## 先端技術活用のスマート農業学ぶ 浜松大平高生

2021年12月2日 05時00分（12月2日 05時02分更新）

浜松市西区の浜松大平台高校で農業科目を履修する「花と緑系列」の二年生十九人が、先端技術を活用して農作業の負担を軽減する「スマート農業」について学んだ。ヤマハ発動機製の農業用ドローンでの農薬散布や、無線操縦で動かせる草刈り機を体験し、農業の未来に思いをはせた。（広瀬美咲）

天竜区春野町で「笑顔畑の山ちゃんファーム」を運営し、浜松市などと共に「中山間地でも持続可能なスモールスマート農業の確立」をテーマに実証実験に取り組んでいる山下光之さん（45）が講師を務めた。

山下さんは授業で、ドローンの使用によって作業時間が従来の三分の一になったと紹介。一方で、導入コストの問題に触れ「スマート農業を導入するのか、既存の機械を活用する方がいいのか、使う側が考えることが大事」と話した。



自動草刈り機の説明を受ける生徒ら＝浜松市西区の大平台高校で

## (2) 産業分野（スタートアップ）

---

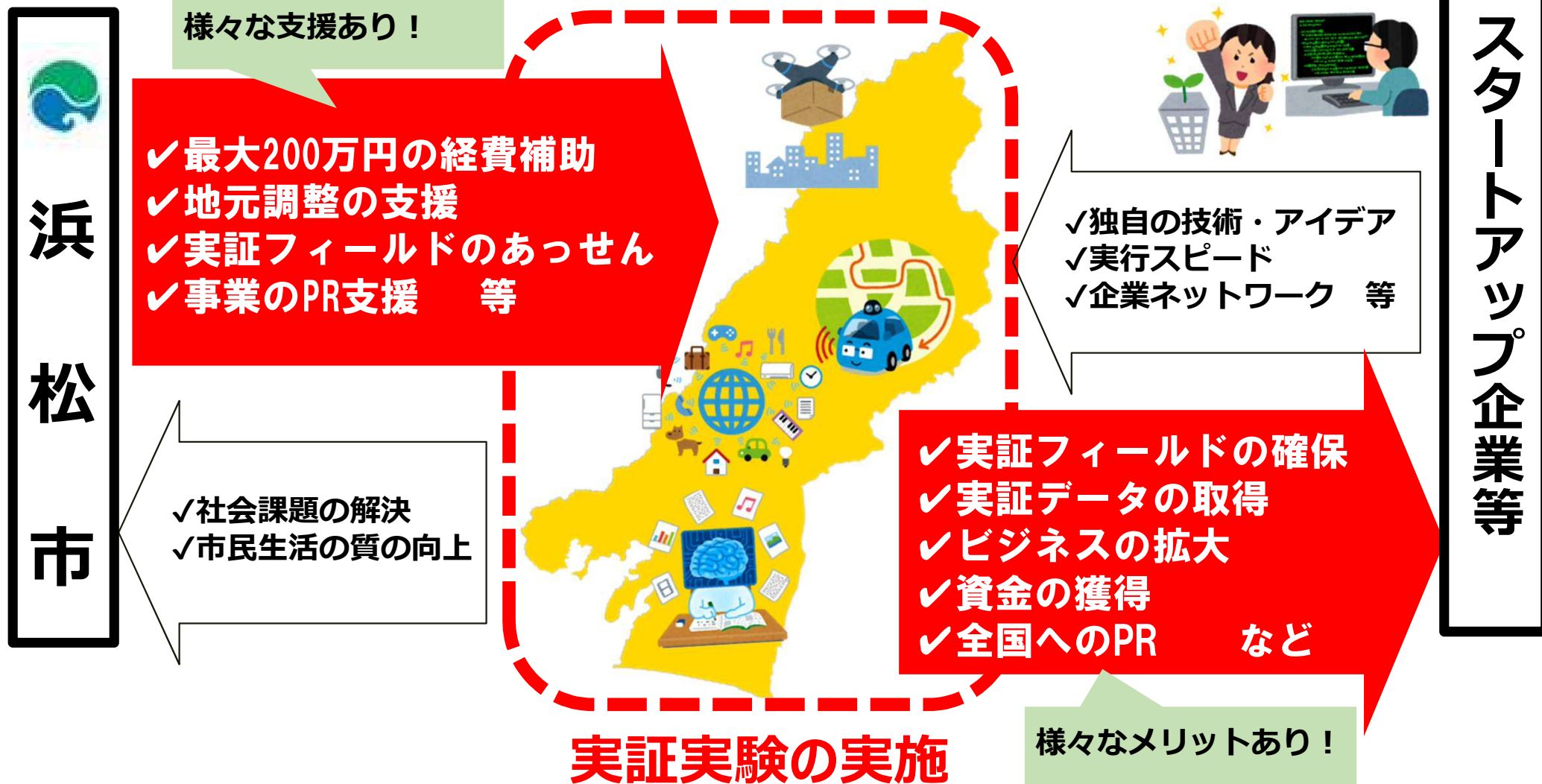


A satellite-style map of a coastal region, likely in Japan, showing a large body of water in the foreground and a landmass with a complex coastline. A specific area on the land is highlighted with a thick yellow and green border, indicating a project site or a specific administrative boundary. The background is a dark blue gradient.

# 浜松市実証実験サポート事業について



スタートアップ企業等が、浜松市内をフィールドとして実施する実証実験プロジェクトを全国から募集し、採択したプロジェクトの実施を浜松市がサポート。



# R3年度申請状況について①

## 課題別内訳

浜松地域の社会課題解決に資する  
SDGsに関連事業(フリー提案)

19社から提案

健康無関心層の行動変容促進

8社から提案

衛星データ等を用いた農地利用状況調査

4社から提案

機能訓練計画の策定支援

3社から提案

住民の「健幸」指標の測定と向上

歴史資源を活用した誘客及びシティプロモーション

市民のごみ減量・資源リサイクル取組度合の可視化

各2社から提案

視覚に障がいのある人の外出時における困難さ解消

CO2排出量等の可視化による行動変容促進

有害鳥獣の追跡・生息状況の把握

ごみ収集サポートシステムの構築

V2Xの取組促進

効率的な歩行量調査

アプリやAR等による火災発生状況の再現

各1社から提案

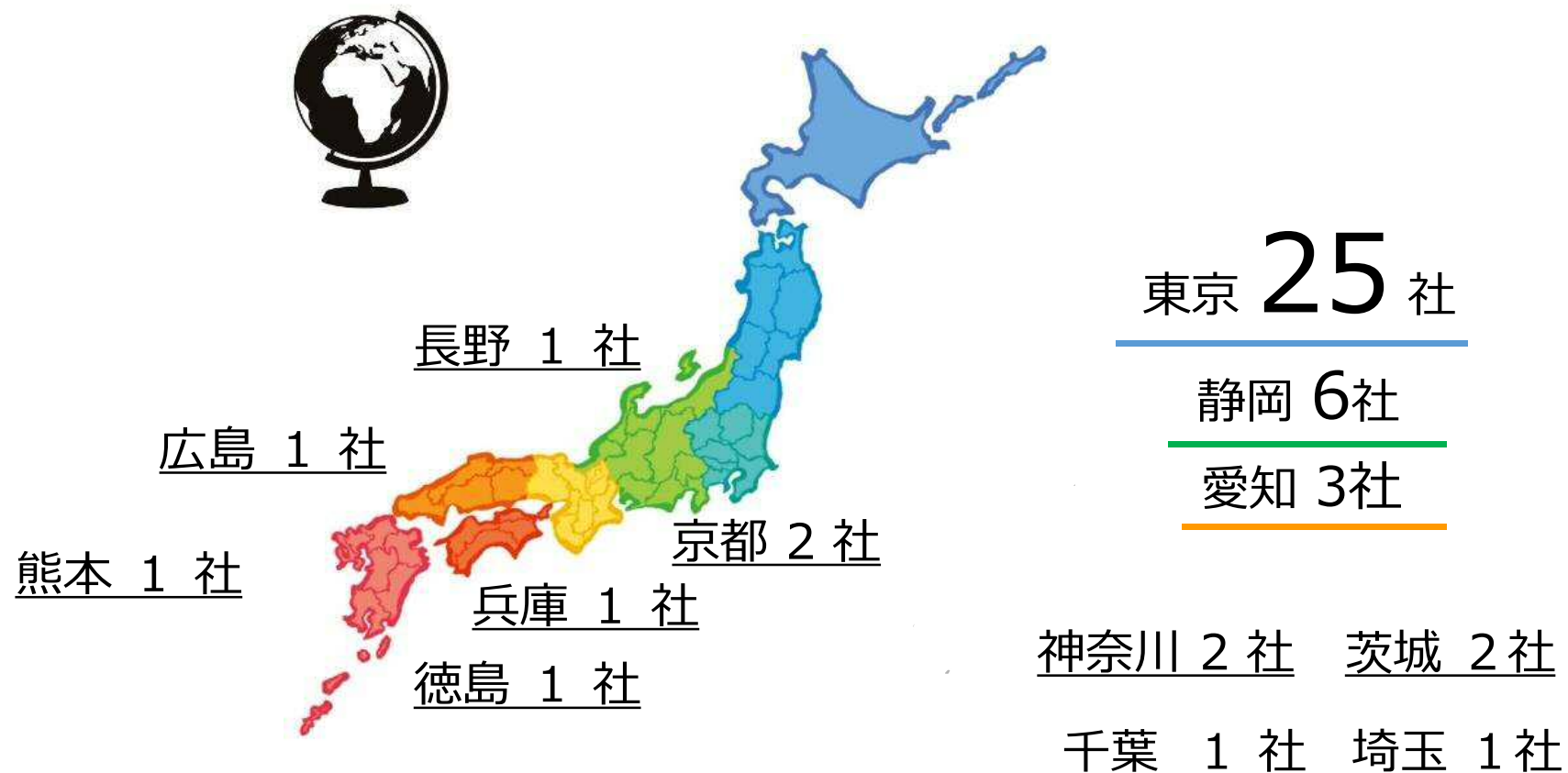
提示した28課題のうち

13テーマに提案あり

計47社の提案のうち、5社の提案を採択

※黄色マーカーは採択課題

## 地域別内訳



✓東京都内の企業が約 5 割

✓静岡県内の内訳は、浜松4、静岡1、富士1



## 衛星データ×AIによる効率的な農地利用状況調査



### 【基本情報】

所在地：兵庫県丹波市  
設立時期：2018年6月



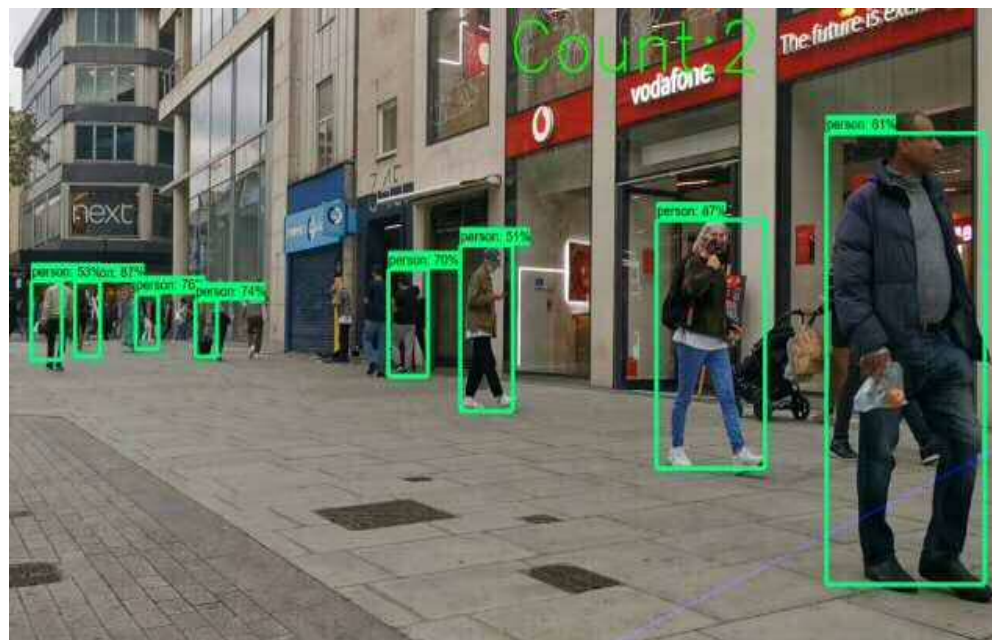
- ✓ 衛星データ(SATELLITE)×機械学習(AI)×区画技術(GRID)の3つの技術を掛け合わせ事業創出を行うスタートアップ。
- ✓ 同社のシステムをベースにして、衛星データ×AIによる効率的な農地利用状況調査の方法を実証する。

## AIカメラシステムを活用した地域分析



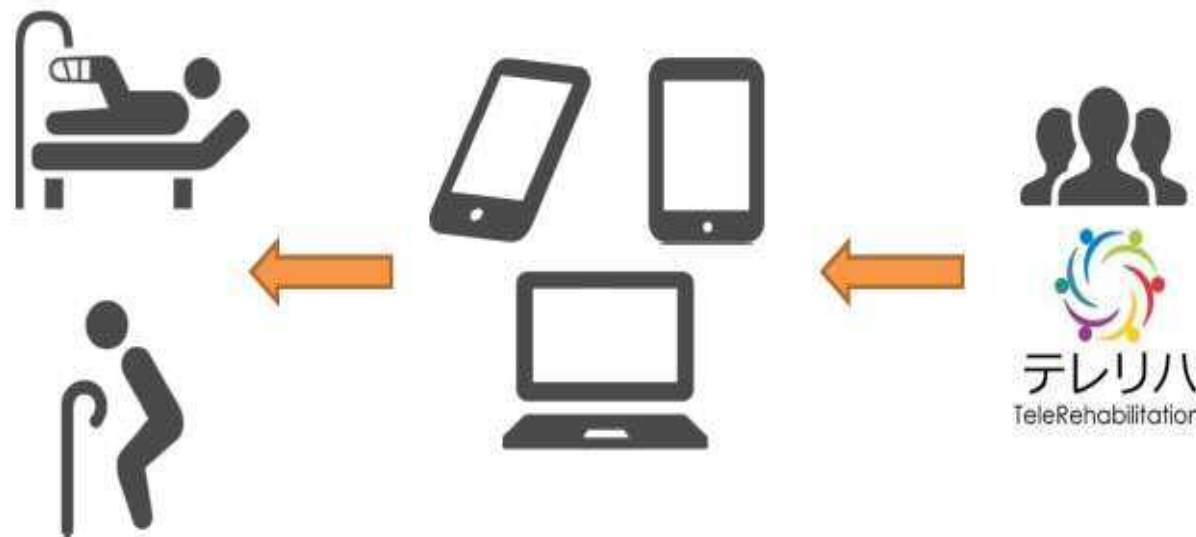
### 【基本情報】

所在地：東京都千代田区  
設立時期：2015年2月



- ✓ 高セキュリティかつ高精度のAI解析が可能なAI監視カメラを提供するスタートアップ。
- ✓ 同社のAI監視カメラを用いた効率的な歩行量調査の方法を実証する。

## シニア世代のWell-Beingをサポートするヘルスケアネットワーク



### 【基本情報】

所在地：東京都中央区  
設立時期：2021年6月

- ✓ 遠隔リハビリサービスの開発・提供を行うスタートアップ。
- ✓ 過疎地や医療格差、リハビリ格差の大きい地域において、オンラインで理学療法士等によるリハビリを提供し、どの通所介護事業所においても効果的な機能訓練計画を実施できる方法について実証を行う。

## 脳と体の健康維持アプリによる地域活性エコシステム

(b\_p)

### 【基本情報】

所在地：東京都渋谷区  
設立時期：2012年4月



- ✓ 認知症予防に向けた脳の健康維持アプリやフードロス削減のマッチングアプリの開発・提供など、「健康」、「消費」、「雇用」の領域でイノベーションに取り組むスタートアップ。
- ✓ 本市では、脳の健康維持アプリの活用による市民健康度向上効果について実証を行う。



## 歩行アシストロボットを用いた高齢者の外出利便性の向上を！

Robotic Innovation for Human  
**AssistMotion**

### 【基本情報】

所在地：長野県上田市

設立時期：2017年1月



- ✓ 軽量で拘束感の少ない歩行支援ロボットを開発する信州大学発スタートアップ。
- ✓ 食料品アクセス困難者等の増大に対するソリューションとして、新しいシニア向けモビリティとしての歩行支援ロボットの有効性を実証する。